

里親いどばた会議特集号

～松江地区里親会 里親だより 第17号～
(令和5年3月発行)



発行：島根県松江地区里親会 (松江市・安来市・隠岐郡の里親の会です)
〒690-0823 島根県松江市西川津町3090-1 島根県中央児童相談所内
TEL：0852-21-3168 FAX：0852-21-3163 MAIL：chuo-satooya@pref.shimane.lg.jp

松江地区里親会は、令和5年1月末時点で36世帯、61名で楽しく活動しています。

今年度は、例年開催している「里親さんとのおはなし会」に加え、小規模でアットホームな「ミニおはなし会」を定期的に行いました。里親はもちろん、一般の方も交えて和やかに話をしました。みなさんに、里親について身近に感じていただけたら幸いです。

第5回ミニおはなし会の様子 (いきいきプラザ)



第4回ミニおはなし会の様子 (林里親宅)



令和5年度 ミニおはなし会の予定

小規模で里親さんの体験談が聞ける会です。

第7回 R5.5.14 (日) 14:00～15:00 いきいきプラザ島根 404

第8回 R5.7.8 (土) 10:00～11:00 安来中央交流センター

第9回 R5.9.10 (日) 10:00～11:00 いきいきプラザ島根 404

※この後も定期的に開催する予定です♪

日程の問い合わせ等は事務局までご連絡ください。

やっぱり“かわいい”

<A 里親>

特別養子縁組をして我が家にかわいい娘を迎え、1年が経ちました。慣れない育児とおわりのない家事に奮闘した毎日。体力不足を痛感しながらも、でもやっぱり“かわいい！”の一言につきます。

これからもたくさんの人にたすけてもらいながら、娘を育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

里子ちゃんの笑顔は何にも変えられない最高のサプリですね♪



子育ては自分育て。一緒に七転八起しちゃってください！

里子を迎えて

<B 里親>

昨年の秋から、生後1ヶ月の里子を養育しています。里子を通して見る世界は今までとは違い、新たな発見が多くあります。

児相さん、里親会の方々もよくしてくださり、心強く思っています。里親会の催し物にもよく声をかけていただきますが、タイミングが合わずなかなか参加できません。

是非またおじゃましたいと思います。

乳児の里子は“完全ミルク育児”です。育児のコツやポイントを教えてもらうために、今後も様々な方と繋がりをもって養育しようと思います。

※吹き出し内は先輩里親からのコメントです。

松江市の子育て支援に登録して <C 里親>

今年初のショートステイを体験しました。小1の女の子と年長の男の子で、二人とも非常に活発で、来るまではこちらが緊張していましたが、1泊2日間、楽しく過ごすことができました。

家にはミッケなどの絵本があり、年齢的に興味を持ってくれました。おまけのおもちゃと合わせて繰り返し楽しく遊んでくれました。自分でトイレはできましたが、お姉ちゃんがしっかりしていて、たまにおねしょをすると自己申告してくれたので、次回からは紙パンツをはいてもらうなど、対応を考えることができました。それと、食べ物の好き嫌いをもう少し詳しく知りたくなりました。

初対面なのに、人見知りをしなかったのがとても助かりました。第一歩の貴重な体験をさせて頂きました。

ショートステイで体験できてよかったですね。これから少しずつ、慣れるでしょうね。

子育て短期支援事業をご存じですか？

子育て中の保護者さんをサポートする一時預かりサービス(ショートステイ)のことです。管内では松江市と安来市において、里親が預け先の1つとしての役割を担っています。

【問い合わせ先】

松江市子育て支援課
TEL 0852-55-5312

松江市子育て短期支援事業についてはこちら→

安来市子ども未来課
TEL 0854-23-3209



第10回里親さんとのおはなし会

R4.10.22 に安来市総合文化ホールアルテピアで行いました。たくさんの方が参加してくださいました！



里親さんの苦労と喜びが聞けました。



錦織里親ご夫婦

開くまでの時間は…。 <D 里親>

「まあ、来たっていいけど。」施設へ帰る車の中で、A子のつぶやきを耳にした。

児童養護施設の、家庭生活体験事業を活用して遊びに来るA子に会ったのは、2年生になったばかりの頃で人懐っこい感じを受けたが、そこから月1回程度の体験がはじまると、来るたびに口数は減っていき、心の壁が増えていくのが分かった。

学習発表会が近づいた4年生の秋、かすかだったけど「来たっていいよ。」とA子の声を聞いた私は飛び上がらんばかりの笑顔でお礼を言った。次の年の発表会ではしっかりと手を振ってくれるし、参観日や運動会などの見学を拒んでいたそれまでのA子ではなく、まぶしいくらいの5年生に成長していた。

「来ていいよ。」までの2年半は長かったのか短かったのかはわからないが、壁を少しずつ取り払い、心を開いてくれたA子に大きな感謝を贈りたい。

里子ちゃんだって生きるの
一生懸命ですものね。
お互いゆっくり、ゆっくりですね。

里親になって思うこと…。 <E 里親>

☆子育ての大変さと楽しさが味わえた！ ☆親仲間ができた
☆学校、地域とのつながりが密になった ☆里親として活躍している先輩方と知り合えた

大変なことは辛い
ことではなく、
楽しいことなん
ですね。

知ってください里親を！～里親出前講座のご案内～

松江地区里親会では里親について多くの方に知ってもらうため「里親出前講座」を開催しています。里親出前講座とは、実際に子どもを養育した経験のある里親の体験談を聞いていただくものです。費用は無料です。「里親って何?」「里親をやっている人の話を聞いてみたい。」など興味をお持ちであれば、各種会合や研修会、少人数の集まりなどへ出前講座に伺います。お気軽に松江地区里親会事務局へお問い合わせください。

(TEL 0852-21-3168)

里親登録をしました <F里親>

コロナの影響で3年…随分と月日がかかりましたが、やっと昨年、念願の登録に至りました。色々な不安や疑問に対して、里親会の先輩方が経験を通してお話をしてくださり、とても励みになりました。なかなか行事に参加できませんが、皆様との交流を通して、里親としての心の持ち方、子ども達との関わりについてなど色々と学ばせて頂いております。本年も可能な限り交流の場に参加させて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

こちらこそ、仲間が増えるのはとっても嬉しいです。つながっている！と思えるだけで“ほっ”としますよね。

里親制度とは？

様々な事情により自分の家庭で生活できない子どもたちを、児童福祉法の規定に基づき、里親が自分の家庭に受け入れ、実親に代わって公的責任の下で養育や保護を行う「子どものための」制度です。

里親になるまでのステップは？

①児童相談所へ相談→②研修受講→③調査→④県の審査→⑤認定・登録(その後は5年ごとに更新)
※まずはお電話でご予約のうえ来所ください。里親制度について詳しくご説明します。

詳しくは島根県里親会 HP→



所感・雑感 <中央児童相談所 所長 寺本年生>

『現代人は、言葉に頼りすぎ、信頼で成り立つ社会を築けなくなっている』先日このくだりが、とあるテレビ番組で心に残りました。言葉を出版、電話、SNSに置き換えると、これらは気持ちではなく、「情報」のみを伝えるものであることがわかります。つまり、身体を使わず、言葉だけで繋がっていても、互いに信頼し、共鳴や共感できる集団にはならないということです。

主に講義されていたのは、山極壽一先生：元京大総長で、ゴリラ研究の世界的権威の方です。類人猿のゴリラは、たまに20cm程度の距離で顔を見合わせ、じっとしているそうです。これは、身体の動きを一つにして、心を通じさせるための行動とのこと。

また、気が合う、合わないなど相手により感じ方が違うのは何故でしょうか？互いの脳波のリズムが揃う（「脳の同期」と言います）と、①人間関係が良好となり②コミュニケーションが円滑化します。顔やアイコンタクトなどの行動が脳の同期を起しやすく、互いの理解が深まる相乗効果となると分かっています。同期の条件は、①同じ時間②同じ空間③同じ目的を共有すること。つまり、リモートやビデオ通話では脳の同期は起こりにくいのです。

さらに、信頼関係の構築のためには、①嗅覚②味覚③触覚の共有が不可欠と説明されました。これらの共有は全て、顔や身体を近づけないとできないコミュニケーションであり、コロナ禍において我々が失ったものです。

また、人間は類人猿と違い、目を進化させたそうです。目の中に白目があるのは、人間だけであり、目の動きの分かる距離で相手の気持ちを読みながら話すというのは、『重要なコミュニケーションの手段』です。そして、これは言葉の分からない赤ちゃんに対し、お母さんが行うごく自然な行動なのです。

少しずつ緩和されてはいますが、残念ながら、同居している家族以外の他者と、目の動きが分かるほど近い距離で直接話したり、飲食を共にしたり、一緒に運動したりすることがタブーとなり、約3年が経過しました。職場に於いても、机の間に衝立を配置し、職員同士の距離をとり、各自マスクを装着し続け、スポーツ大会などの厚生事業もなくなりました。たぶん職員の中には、まだ直接会話したこともなく、マスクを取った顔を全く知らないという人も多いのではないかと思います。

コロナ禍前に実施していた里親さんや子どもたちとの交流会、親睦の宴もなくなり、研修での施設実習や、肝心の子どもを里親さんへ委託するときのマッチングも、思うように進まなくなりました。子どもたちの最善の利益の実現のためにはこのままで良いとは絶対に思えません。

全国の学校や保育園、イベント会場や各種大会など人の集まる様々な場所において、マスクなしの素顔で互いの目の動きを見ながら語り合い、時には飲食を共にしながら、それぞれの喜怒哀楽の表情を遠慮なしに表出することがあたりまえに実現できる日が一日も早く来ることを切に願っています。



温かいご支援をありがとうございました!



寺本所長

田中部長

今年も島根県電気工事工業組合青年部様より県里親会に「里子激励金」をいただきました。「里子さんたちのために役立ててほしい」と長年にわたりご寄付をいただいています。松江地区里親会では、R4年度はいただいた激励金で委託中の里親さんに、図書カードやQ.U.Oカードにて贈呈しました。

里親支援専門相談員より <双樹学院 林澄子>

“一期一会”・・・心がけたいと思っている言葉です。出会いはとても不思議です。偶然出会ったかのように思われても、実はそこに必然性があったように感じる場合があります。だから“縁”という言葉があるのでしょうか。“縁”があって出会ったのですから、大切にしたいと思っています。たとえどのようなかたちの出会いであっても、心がほぐれるものにできたらいいな、と思います。

昨年度、コロナ渦でありながらも何人もの里親さんと出会わせていただき、繋がるきっかけをいただきました。今年度、更に新たな出会いを通して繋がり輪を広げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

縁は大切ですね。我が家も縁があって子どもを預かりましたよ。

里親支援専門相談員より <松江赤十字乳児院 高橋敏子>

令和3年度から里親支援専門相談員として里親の皆様と関わらせていただいています。令和4年度は、前年度までの数倍もの委託数に驚いています。今後も乳児院から里親委託させていただくケースの増加が考えられます。

里親親子にとっては、委託から長い養育が始まる訳ですから、乳児院も継続性のある支援を考えていかなければならないのではないかと、今後の里親支援について思案している現状です。

里親の皆様とつながり、お声を身近で聞かせていただきながら考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

これからも里親支援をどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

第67回島根県里親大会が開催されます。
期日：令和5年7月29日(土)午後
会場：いきいきプラザ島根4階
参加対象：関心のある方ならどなたでも



ありがとうございました

中央児童相談所の里親担当である門脇さんが、令和4年12月を持って退職されました。大変お世話になりました。



門脇担当

錦織里親

里親相談引き受け隊

～里親に関すること、なんでもご相談ください～

柏木 : 090-1188-2239

林 : 090-9411-0083
mail : iketerutetu0623@docomo.ne.jp

錦織 : 090-1019-4603

松江地区里親会事務局: (0852) 21-3168
mail : chuo-satooya@pref.shimane.lg.jp
(中央児童相談所内)

宇都宮: 080-8241-6929

mail : kyouko0609.xboo@docomo.ne.jp



<編集後記>

今年の里親だよりは、里親井戸端会議を中心に編集しました。里親さんからさまざまな思いのこもったメッセージをいただき、胸が熱くなりました。日々子どもと向き合い育児に奮闘するとともに、里親会とのつながりを大切にいただいているのだなと再確認しました。(事務局 藤井)